

平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年12月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シーズメン

コード番号 3083 URL <http://www.csmen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 梶島 正司

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 保住 光良

TEL 03-5623-3781

四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	5,002	2.1	△40	—	△47	—	△58	—
26年2月期第3四半期	4,900	△6.9	△67	—	△73	—	△69	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	△74.23	—
26年2月期第3四半期	△87.97	—

(注) 当社は、平成25年9月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり四半期純利益は当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	4,056	2,056	50.7
26年2月期	3,901	2,115	54.2

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 2,056百万円 26年2月期 2,115百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年2月期の業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,900	2.2	30	—	20	—	△50	—	△63.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期3Q	975,000 株	26年2月期	975,000 株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	185,400 株	26年2月期	185,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期3Q	789,600 株	26年2月期3Q	789,600 株

(注)当社は、平成25年9月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の株式分割を行っております。これに伴い、株式数は当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府および日銀の積極的な政策の実施により、企業収益には改善傾向が見られ、緩やかな回復基調が続くものの、急激な円安による物価上昇や実質賃金の低下など、景気を押し下げる要因もあり、先行きは不透明な状況で推移いたしました。衣料品小売業界におきましても、消費者の慎重な購買姿勢は継続し、また円安によるコスト上昇など、引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は期初に実施した組織改革、販売と商品を統括する営業本部の設置と、営業部門・管理部門の主要メンバーで構成される拡大執行役会の設置による、連携の強化と意思決定の迅速化など経営力の強化を推し進め、また「商品・販促」、「店づくり」をテーマとする分科会を設け、営業戦略を深化させるなど、全社一丸となって業績の回復に取り組んでまいりました。

販売面におきましては、組織改編により、権限と責任を委譲された若手リーダーの意識改革を推進し、活性化と販売力強化を図ると共に、将来に向けた人材の育成に取り組んでまいりました。

商品面におきましては、シーズンを先取りした商品を前倒しで投入し、ファッション感度の高い客層の需要を取り込むなど、プロパー販売の強化を進めてまいりました。また、オペレーションチームによる、店舗サポート機能を推進し、店別品揃えの精度向上と在庫の適正化に努めてまいりました。

以上の施策を実施したことにより、既存店の売上高前年比は105.0%、全社の売上高前年比は102.1%となりました。利益面では、価格を抑えた商品の投入などの要因により、売上総利益率は前年を0.4ポイント下回る49.0%、売上総利益の前年比は101.2%となりました。

店舗戦略におきましては、「METHOD」1店舗、「流儀压榨」2店舗、「AGIT POINT」1店舗の合計4店舗を出店する一方で、「METHOD」2店舗、「METHOD COMFORT」1店舗(アウトレット店)の合計3店舗を閉店いたしました。その結果、当第3四半期累計期間末の店舗数は「METHOD」39店舗、「流儀压榨」33店舗、「METHODCOMFORT」1店舗(アウトレット店)、「AGIT POINT」2店舗、「誓文払い」1店舗(アウトレット店)の合計76店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は50億2百万円(前年同期比2.1%増)、営業損失は40百万円(前年同期比27百万円損失減)、経常損失は47百万円(前年同期比26百万円損失減)、四半期純損失は58百万円(前年同期比10百万円損失減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①財政状態の状況

## (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は26億39百万円となり、前事業年度末に比べ1億85百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の減少3億14百万円、売掛金の増加3億46百万円、商品の増加1億86百万円等によるものであります。固定資産は14億12百万円となり、前事業年度末に比べ29百万円減少いたしました。これは主に繰延税金資産の増加34百万円、有形固定資産の減少12百万円、リース資産の減少21百万円、敷金及び保証金の減少24百万円等によるものであります。

この結果、総資産は40億56百万円となり、前事業年度末に比べ1億55百万円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は13億48百万円となり、前事業年度末に比べ3億60百万円増加いたしました。これは主に買掛金の増加2億54百万円、未払費用の増加1億3百万円等によるものであります。固定負債は6億51百万円となり、前事業年度末に比べ1億45百万円減少いたしました。これは主に社債の減少25百万円、長期借入金の減少1億15百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は20億円となり、前事業年度末に比べ2億14百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は20億56百万円となり、前事業年度末に比べ59百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少58百万円等によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の業績予想及び配当予想を修正しております。本件につきましては、本日(平成26年12月25日)公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,393,844	1,079,837
売掛金	175,166	521,693
商品	787,470	974,251
繰延税金資産	39,727	23,345
その他	61,051	44,334
貸倒引当金	△3,250	△3,763
流動資産合計	2,454,010	2,639,698
固定資産		
有形固定資産		
建物	866,760	854,480
減価償却累計額	△534,474	△527,250
建物（純額）	332,285	327,230
工具、器具及び備品	234,971	255,937
減価償却累計額	△132,477	△151,721
工具、器具及び備品（純額）	102,494	104,215
建設仮勘定	9,301	200
有形固定資産合計	444,081	431,645
無形固定資産		
ソフトウェア	15,789	14,349
リース資産	28,920	7,230
その他	6,006	3,150
無形固定資産合計	50,716	24,729
投資その他の資産		
投資有価証券	73,152	72,301
長期貸付金	66,889	64,026
長期前払費用	9,947	10,233
繰延税金資産	74,731	109,622
敷金及び保証金	789,068	764,134
貸倒引当金	△66,889	△64,026
投資その他の資産合計	946,898	956,292
固定資産合計	1,441,696	1,412,667
繰延資産		
社債発行費	5,531	4,609
繰延資産合計	5,531	4,609
資産合計	3,901,238	4,056,975

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成26年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	68,014	100,928
買掛金	161,820	416,656
短期借入金	220,000	220,000
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	185,940	156,018
リース債務	23,998	3,488
未払費用	155,054	258,238
未払法人税等	12,615	13,965
賞与引当金	53,000	28,150
設備関係支払手形	28,761	45,281
資産除去債務	2,900	-
その他	26,304	56,097
流動負債合計	988,411	1,348,823
固定負債		
社債	175,000	150,000
長期借入金	433,818	318,045
役員退職慰労引当金	31,565	29,482
リース債務	581	-
資産除去債務	156,529	154,450
固定負債合計	797,493	651,977
負債合計	1,785,905	2,000,801
純資産の部		
株主資本		
資本金	245,000	245,000
資本剰余金	415,193	415,193
利益剰余金	1,584,546	1,525,935
自己株式	△150,446	△150,446
株主資本合計	2,094,293	2,035,681
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,040	20,492
評価・換算差額等合計	21,040	20,492
純資産合計	2,115,333	2,056,174
負債純資産合計	3,901,238	4,056,975

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	4,900,308	5,002,862
売上原価	2,479,231	2,551,638
売上総利益	2,421,076	2,451,224
販売費及び一般管理費	2,488,434	2,491,302
営業損失(△)	△67,357	△40,077
営業外収益		
受取利息	1,259	1,373
受取配当金	441	437
貸倒引当金戻入額	2,034	2,350
受取補償金	-	1,934
その他	122	711
営業外収益合計	3,858	6,806
営業外費用		
支払利息	10,001	12,635
その他	482	1,105
営業外費用合計	10,483	13,740
経常損失(△)	△73,982	△47,011
特別損失		
固定資産除却損	8,106	4,448
店舗閉鎖損失	105	3,104
減損損失	18,102	11,210
特別損失合計	26,314	18,763
税引前四半期純損失(△)	△100,296	△65,775
法人税、住民税及び事業税	11,125	11,042
法人税等調整額	△41,965	△18,207
法人税等合計	△30,839	△7,164
四半期純損失(△)	△69,457	△58,611



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

前第3四半期累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)及び当第3四半期累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

当社は、衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。